京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

京城居留民公文

京城居留民團示第六號（其ノ五）（終）

京城居留民團立京城中學校學則左ノ通定ム

學科課程及每週教授時數配當表

第一部

學年	第四學年	時數	第五學年	時數
學期	第一學期 第二學期 第三學期			
修身	道德ノ要旨	一	道德ノ要旨 倫理學大要	一
國語漢文	講讀、文法 作文	六	同上 同上 國文學史	六
英語	讀方、譯解 書取、作文 會話、文法	七	同上 同上 同上	七
歴史	西洋歴史	二	日本歴史 西洋歴史	二
地理	外國地理	一	地文	一
數學	幾何 代數	四	同上 三角法	四
博物	動物、同上、同上 二、二、一			
物理化學	化學、同上、同上 三、三、四		物理	四
法制經濟			法制經濟ノ大要	二
圖畫	自在畫 用器畫	一		
體操	普通体操 兵式体操	三	同上 同上	三
韓語	韓語	二	同上	二
合計		三〇 三二		三〇 三二

第二部

韓語ハ隨意科トス

學科課程及每週教授時數配當表

學年	第四學年	時數	第五學年	時數
修身	道德ノ要旨 商業道德	一	同上	一
國語及漢文	國語及漢文	三	同上	二
	商業史	二	同上	一
	書法	一	同上	一
歴史	西洋歴史	一		
地理	外國地理	一	商業地理	二
英語	英語	四	同上	五
韓語	韓語	三	同上	三
經濟		一		二
法規		二		二
簿記		二		二
商品				一
商事要項		一		一
數學	幾何 商業算術	三	同上	二
博物	動物	一		
物理	物理	一	同上	一
化學	化學	一	同上	一
體操	普通体操 兵式体操	三	同上 同上	三
合計		三〇		三〇

附則

第六條 本規則ハ京城居留民團立京城中學校設立ノ日ヨリ之ヲ施行ス

京城居留民團規則第十一號

京城居留民團立京城中學校授業料徵收規則左記之通居留民會ノ議決ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十二年四月八日

京城居留民團民長代理助役 林田茂七郎

京城居留民團立京城中學校授業料徵收規則左ノ通定ム

京城居留民團立京城中學校授業料徵收規則

第一條 京城居留民團立京城中學校授業料ハ一人一ケ月金三圓トス

第二條 授業料ハ每月始業日ヨリ五日以內ニ其月分ヲ徵收シ該期日後ニ入學スル者ハ其ノ當日之ヲ徵收ス

第三條 夏季休業又ハ學校ノ都合ニ依リ全月休業スルトキハ其ノ月ノ授業料ハ之ヲ徵收セス

第四條 授業料ハ生徒疾病其ノ他ノ事故ニ因リ全月欠席又ハ其ノ月半途ニシテ退學スルモ之ヲ減免スルコトナシ其ノ既ニ納付シタルモノハ之ヲ還付セス

第五條 授業料ハ納入告知書ニ依リ其ノ保證人ヨリ之ヲ徵收ス

文苑

●醉ふては胸　しづ子

たまさか通よふ戀びとに
心中だてすりや性惡るな
三十日の月と嫐ぶらるゝ
身は川たけの浮き瀬ぐさ
宵にすごしたさゝの香も
醉ふてはむねが痛むぞゑ
醉ふてはむねが痛むぞゑ

俳句

●洋傘十句　千春

洋傘の色さま〴〵や公園地
洋傘の立てかけてある玄關かな
洋傘の赤きは戀のあるらしき
絹傘のうつむき勝ちに通りけり
洋傘や姿勢正しき女敎員
洋傘と菅笠まじる伊勢路かな
自用車や絹洋傘のうつくしき
うき人の洋傘に顏隱しけり
洋傘に効能書や藥賣
洋傘や校舍出て行く女學生

新刊紹介

▲東京經濟雜誌● 本誌重要事業は「商況の恢復如何」「東鐵の新重役」「米國の製茶關税と本邦の關税政策」外數項なるが殊に坂谷男の「都市に於ける物價と愛市心」は有益なる文字なり（一四八四、十一錢東京彌左衛門町東京經濟雜誌）

▲警察月報● 「法令」「例規」「日本國法例令」「雜纂」の四欄に分ち二月十六日三月十五日迄の分を記載したるものなり（八號警視廳編纂）

▲新月● 發刊の趣旨の一節に曰く「茶、活花、禮式、香、盆石は古へより五道と稱して上流の人々の必ず心得べきこととせられしが維新以來諸侯の廢滅と共に是等の諸道衰へたり今にして其の道を究むるなくんば傳來の道聽て絶滅すべし」さ以て內容の如何を知るべし（一號十五錢本郷湯島三組町新月社）

▲棊界新報● 斯界に關する有益なる記事十數種中に就て「朝鮮の圍棊」は一讀すべき價値あり（二卷四號十八錢東京小石川區久堅町棊界新報社）

▲實業の日本● 內容は賑やかなり殊に卷頭に「雜誌界空前の一大光榮に感泣す」の題下に畏くも同雜誌が皇太子殿下の御眼に止り侍從の者に自今同雜誌を取り揃へ置くべしと命せられたる御言葉に對し感泣措かざりし旨を書しありしが蓋し之れ同雜誌に取つての一大光榮といふべし（十二卷七號十一錢東京京橋區南紺屋町實業の日本社）

▲時代宗教● 「幽靈責任論と輪廻轉生説」「日本武士道談」は本號の讀物なり（五十號五錢東京麴町區上六番町時代宗教社）



佐倉宗吾（五十三）

眞龍齋貞水講演

さて村岡幸藏は、妹の關野の異見をうるさく思ひ、貴様などが知つてたる事でないと差向ひの時には申しますけれども、御前へ出れば、殿の御愛妾に成つてれる、自分もまた、其妹の力に倚つて出世したので、頭は上らぬ、誠にこの妹の異見が氣に入らぬ所から、自から殿様へ申し上げて、國勝手申し付けられた、國詰になると、此様な佞人でございますから、城代堀田玄蕃へ取入れる、玄蕃も心きゝたる者と、喜んで之を味方に引入れました、其村岡が一日玄蕃の處へ來り 村「さて此程、散り〴〵、亂ら〳〵百姓共が江戸表へ上つた容子この儘すて措きましては、如何なる事を訴へ出るかも知れぬ、兎に角玄蕃様、御思慮あつて然るべし」と云ふと玄蕃は 玄「それは大變、こちらの銘々の身の上に拘はる一大事、兎に角汝は、是から江戸へ參つて、殿様へ宜しく申し上げてくれ」 村「心得ましてござる」と、そこで村岡幸藏が出府いたしたのでございます、之を聞きたる妹の關野が「ア、兄は悪い所へ出て來た、最前大和様が、殿様へ御異見あそばし、殿様御考へ中の所へ、兄がまた何事か悪しき事を申上げたら、殿様の御心が紊れるであらう」と心配して、希かざんな事を申し上げるか、聽きたいものだと思ふが、さて御妾の身の上御國政の事に就いては、聽く譯にいかぬから、如何したら宜からうと思つてれると、恰度幸ひ、御酒宴が催されて、其席へ幸藏が罷り出ました 幸「これはこれは、麗はしき態を拜し、恐悦至極に存じ奉る」 殿「オゥ其方も能う出府いたした、國表は如何ぢや 幸「御國表は皆な大切に御國政を執り、御城代はじめ諸役人一同變はりし事はございませぬ 殿「汝も變はりし事はなきか 幸「有難き御尋ね、御蔭を以ちまして、別段變はりし事はございませぬ 殿「左様か 幸「承ますれば、何事か今朝、御國表の百姓共が總代を以て御主君の御駕籠に縋らんと致したる由に是ありまするが 殿「左様ぢや、予の登城先を妨げたるに依り、予は一旦登城を止まり、堀田大和、川越播磨の兩名へ對し、百姓共願ひの儀に就いて、調べ方を申し付けた、然るに最前大和が罷り出で、國表の諸役人を取調べよと申せしが、よもや國表にては、不都合ばありは致すまいな 幸「是はしたり、以ての外の大和殿の御一言でござる、國表にては、御城代はじめ御先代の御國政を守り、御家大切と勤め居りまする、然るに先頃御主君の御利益を計り、聊か運上の取立に及びし所、百姓共却て之を兎や角ら悪しざまに心得、御主君を詈り殊に大竹村の萬兵衛と謂ふ奴は、河合半助を初め、地方廻村の役人を打殺し、水戸領潮來へ遁れ、其上また〳〵捕手の役人に對し不法を働きなど、是みな主君を蔑ろに致しました證據でござる、是は御主君も豫て御承知あらせられませう、なか〳〵以て城代の壓制どころでなく、却て百姓共が二三の悪人に煽られ、種々なる事を、大業に申し立てるのでござる 殿「ム、その事に就いては先頃水戸副將軍よりし、予に對し萬兵衛は貰ひ置くと仰せられ、實に予は其時憤慨でありしが、其儘に事を過したり、左様に國表の百姓共は、予に對して不禮を致するか 幸「まづ左様な有様にござる、次にまた承りますれば、何事か堀田大和殿の計ひにて、麻布古川の御下屋敷へ、一同の百姓を入れて、相當の手當をして取らするとの事、尤も是は、未だ確と決まりし譯には是なき由にございまするが、兎に角百姓一同は、唯今淺草觀音様へ參詣に參たとの事でござるから、是は一つ、大和殿の申し付けと言ひ含め、彼等一同の百姓を、麻布御下屋敷へ伴れ行き、是が前後を立切り、先づ擒と同様に致し、夫より木內宗五郎はじめ、六人の名主共を喚出し、確と御説諭がございますれば、この六人は、御主君の仰せに從はぬ時には、七十八人の百姓の身の上に關はることであらうと、總に七十八人を助けるがため、何事も仰せに從ひ、御國表へ立歸ること必定にございますれば、此儀然るべきやう存じまする、此まゝ御捨置きに相成りましたが[illegible]

御主君の御名[illegible]も關られませぬ。





京城新報

副統監の奮起を望む

伊藤統監の辭意

統監辭意の東電來る、伊藤統監辭任の說は毎時も噂のみにて實現せざるを以て何人も是を念頭に置くものなし、惟ふに伊藤公自身の胸中に於ても夙に辭任の意なきにあらざるも例の虛榮に擒はれ優柔不斷とは容易に之を決せしめず、徒に世の顯賓を博しつゝ辭任すべき機を俟てるもの丶如し、要は繼々起る頌問の反影に非ざる乎、辭任の說は公が胸中に蟠れるものなり、然るに今回は大磯の井上侯が切實なる忠告に辭意を決せりとの事なれば或は現實せらる丶やも知る可らず、余輩も亦公が今日に於て辭任勇進するは最も時機を得たるものなりと信ず、公が最も得意とする形式的の施設は既に成了したり、彼の觀光團の如き事まで爲し畢る、最早や新的政策はなし、盡して餘す所なし、公の辭任を決するは決して謂はれなきにあらず、公の名聲を維持するの爲にも適當の所置たるべし、余輩は切に之が實現を希望するものなり

果して伊藤公にして辭任するとせば余輩は曾禰副統監の奮起を望まざるを得ず、伊藤統監辭任すれば桂首相若しくは寺內陸相が統監たるべしとの說あるも肝は到底實現すべき事に非ざるべきか、此等の政治家が祖國を離るゝ事は現狀に於て容易に行るべきことに非ず、縱令桂內閣の政府より脫し得らるとするも是れは本人の不利益のみならず政府の最も不利とする所なれば事實に於て甚だ難事なり、然るに曾禰副統監は幸ひにも一種の決心ありて副統監の重職に就けり、且つ祖國の政界とは全く絶縁せられたるの姿あり、余輩は副統監なるものは其決心の堅きを多とするものなり、元來余輩は統監政治萬般の施設は伊藤公の手中にありて副統監は一個の飾物に過ぎざるものと信じたりき、然るに世人をして副統監は何をなしつゝありしやを訝らしむるに至れり、曾禰副統監も亦三年鳴かず飛ばずして今日迄何等爲す所なかりしは世人の云ふ曾禰副統監の默々たる所以にして伊藤公と意見を異にするもの或は曰く伊藤公狹量にして副統監を容れざるものありしも非ざるべし、斯くて副統監をして其の手腕を揮はしめざるが爲也と、其間伊藤公にして辭任するとせば副統監の奮起すべき時機は來れり、伊藤公の名の如く伊藤公の施設に力を盡すべき事は既になし盡せり、今後の施設に於ては伊藤公よりも副統監を優れりとせん、世人も亦此點に於ては曾禰副統監に期待する所あり、殊に就職后一年有半の歲月に亘れば自然韓國の事情にも通せられしならむ、惟ふに伊藤公の後任として保護政治の完成を計るに於て最も當を得たるものならん乎、玆に於て余輩が曾禰副統監の奮起を望むは決して謂はれなき事にあらざるべしと信ず、曾禰副統監たるもの世の囑望に對しても蹶勵一番此大任に當る堅確なる覺悟なかるべからざる也、

外報一束

●**兩州合併承認** 英、獨、伊三國は既に伯林條約二十五條廢棄に同意する旨を表示し以て墺國のボスニア及びヘルツエゴヴイナ合併を承認したり露佛兩國は同意する筈因に最近墺國の軍事的準備は一日四萬磅宛の臨時支出を要したり

●**英國對淸鐵道** 駐淸英國公使ジヨールダン氏は淸國が千九百五年の約束あるにも拘はらず最低入札を英國に提示せずして先獨逸人と粤漢鐵道借款契約を締結したるに對し外務部に劇烈なる抗議を申込みたりと云ふ

●**露淸交涉未決** 哈爾賓市行政權に關する露淸交涉は都合より進捗せず東淸鐵道總裁ホルワト將軍は十一日北京よりハルピンに歸着すべし

●**露外相候補者** ウキッテ伯はイスウオルスキー氏に代るべき外務大臣の新候補者なりと稱せらる

●**關稅法案修正** 米國下院は關稅法案に關し茶を無稅とし珈琲に對する內外製品均衡稅を廢するの修正を採用せりと

●**直隸紳商激昂** 灤州炭坑問題に就き直隸省の實業者學生等は英國の干涉を憤り檄を飛ばして天津に大會を開き紳董劉某を代表者とし權利維持の連名書を外務部に提出したりと

●**淸國兵の驕慢** 近來淸國兵士の露國軍隊を輕侮すること漸く甚しからんとする模樣なりと

雜報

●**統監と協議す** 山縣元帥、桂首相は十日午前十時三十分頃より相前後して伊藤統監を靈南阪邸に訪問し何事か重要の協議あり十二時午餐の卓を共にして午後一時過退出したり

●**間島と韓官吏** 十二日付勅令を以て內部大臣は隨時所屬職員を間島に派遣し得る旨を公布したるが尙職員の服務權限は統監府臨時間島派出所長の指揮に依るべしと

●**三稅と地方民の感想** 三稅賦課に對する地方民の意嚮に就きては屢々報道したるところありしが尙更に聞く所に依れば一般には概して之れを喜ばず其の感想は地方に依りて異なるも要するに日本人が誅求するものなりとの事は一般の感想なるが如し先づ

▲**家屋稅** に就き咸南方面にては氣受け甚だ惡く殊に軍隊より徵發せられ居る家屋に就ても稅金の賦課を受くるは二重の稅金なりといひ居れり

▲**酒稅** 之れが釀造元に於ては一般に不平を鳴し從來とても利益少なきに此の上稅金を納むる時は毫も利益なしとて反對する者ありと同時に或者は稅金の爲め酒の價高くなりたる時は之れを飮まざるべしと喜ぶ者もある由なるが勞働者側に於ては一日の勞を休めん爲には酒に據るの外なきに斯くなれば容易に飮む能はざるに至るべしと唱ふる者あり

▲**莨稅** 三稅中最も評判惡しく韓人は之れを奢侈品とせず缺くべからざる日用品なりと思へる者多ければ斯かる稅金を賦課するは日本人が自國の嚢を肥らんが爲めの策なりとの感想を懷く者多しと云ふ

●**大臣參與官兩會議** 昨日午前十時より定例參與官會議を開き午后一時より各大臣統監邸に參集大臣會議を開きたり

●**社還米規則の勵行** 度支部發案の社倉規則は參與官會議に於て廢案となり從來の社還米規則を勵行する事となりたるは既報の如くなるが爾來內部度支部間に於て協議の結果現存の規則を勵行し其の目的を遂行せしむる事に關し今回兩部大臣より訓令を發する事となれりと

●**內部の法令審查會** 內部法令審查會は一昨日午後開會し澤田會長以下各委員出席地方會計規則案を審議したるが同案及び地方財產管理規則案は別項目下開催中の地方會計主任會議に諮問すと

●**漁業許可と水產局** 漁業法の施行後農商工部水產局にて許可を與へたる分は總計十九件にして第一種及第四種の漁業に關するもの丶由なるが地方の分は此以外にして隨分多數に上りたらんと

●**韓國の鑛業と經營** 韓國の金鑛及砂金は殆んど其の經營方法宜しからざるにつき當局者は追て其の方法に對する意見を發表することある由なるが某外國人は大に韓國の金鑛に注目し大々的の規模にて採掘に從事すべしと

●**條約改正と聯合會** 來る四十四年に於ける訂盟列國條約改正に關し日本關稅局にては昨夏關稅調查會なるものを設け專ら關稅に就ての調査を爲しつゝあるが之に關し當地商業會議所聯合會にては關稅の改正如何によりては韓國の貿易に至大の影響を及ぼし而已ならず過般一問題となりたる米穀輸入稅引上案の如き事件を出現せざるやも保し難しとし從つて今より警戒し置くの必要を認め今 韓國全体の商業會議に對し從來に於ける輸入輸出の統計と其の地に於ける經濟事情とを調査せしめ同時に一冊子として關稅調査會に送付し以て韓國に對して其の際不利益の影響を蒙らしめざるやう計劃しつゝありしが愈々昨日各商業會議所に向け之が調査方を依囑したりと因みに同聯合會にては過日統監府に向つて其の旨を陳述し置きたりと

●**平壤の煉炭と製鐵** 平壤無烟炭鑛は頗る有望なるを以て先づダイヤモンドボーリングを行ひたる後煉炭製造所を設け同時に同地方の鐵鑛を原料とし煉炭を用ひて製鐵事業を經營する方針也と

●**忠北全南の救恤金** 忠淸北道及全羅南道に於ける昨年度の水火災に罹りたる戶口に對し救恤金を下付したる件數及金額左の如し

	死亡人數	罹災戶數	死者救恤金（圓）	罹災救恤金（圓）
忠北	一七	二五九	二、七五	七、七〇〇
全南	一	五	七五	一五、〇〇〇

●**日韓同志會の會合** 日韓同志會にては八日午後五時より赤坂みち館に會合日韓兩國間の時事問題に就き協議を兼ね春期懇親會を開催したるが出席者は上野安太郎、荻野芳藏、木下謙次郎、中村彌六、栃橋一郎、西本國之助、瀧村五十雄、樋口秀雄、中村多八郎氏等にて直に宴を開き今後の韓國開發其他諸種の事項の付き協議する所あり一同歡を盡くして散會せり

●**暴徒橫行民心恟々** 暴徒の首魁朴抱夫、金海山等は徒黨八十余名を引率し月下茂長郡斗靈山に楯籠りて夜間附近の村落を橫行し民財を掠奪しつゝあるを以て民心恟々たりと

●**仁川上旬貿易概況** 仁川稅關に於いて本月上旬中の貿易概況を聞くに輸出入額は三十万五千九百三十九圓にして昨年の同期よりは十四萬圓の減少を來し居れるが這は輸入の減少せるものにして輸出に於いては昨年の同期より五割以上の增加を示し十一萬四千九百七十五圓也と

●**貨幣發行高週報** 第一銀總支店に於ける四月四日より同十日迄の貨幣發行高は左の如し

第一銀行券總發行平均高	八、八五五、七〇〇
內正貨準備發行額	二、九九五、七〇〇
保證準備發行額	五、八六〇、〇〇〇
銀行券平均手許有高	七八八、六二八
銀行券市場中均流通高	八、〇六七、〇七二
硬貨發行額四月十日現在	二、四三、六四五
內金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇〇、〇〇〇
金貨五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	六四四、五〇〇
同 廿錢	七三六、五〇〇
同 十錢	三九四、〇〇〇
白銅貨五錢	八二四、〇〇〇
青銅貨一錢	一、三三三、七六〇
同 五厘	六一、二七〇

●**韓海出漁を獎勵す** 朝鮮沿海に出稼の我が漁業者は內地漁業に比較し其の收利多大なるより近年益々增加し去る三十五年中には出漁船數僅に七百八十餘隻に過ぎざりしも昨年に至りては三千八百九十八隻の多數となり從つて其の收益の如きも皆に三百五十餘萬圓の巨額に上るに至り我が政府に於ては一層同漁業を獎勵するの方針にて前年來韓海出稼水產組合に對し毎年二萬圓の補助を與へ來りしを本年は出漁者更に增加すべきに依り各地に水產組合の支部若くは出張所を增加せしめ並に汽船十隻を購入して各地を巡航せしめ出漁者の保護並に器具用品漁獲物の運搬等に當らしむる爲同補助費を二万五千圓に增加し支給する事となりたる由にて九州中國、四國地方の漁業者は昨今夫々出漁の準備中也

●**大韓毎日發賣禁止** 桑港に於て發行する新韓民報及び布哇に於て發行する新韓國報は日韓聯邦論を主張して穩きに發賣禁止を命せられたるが大韓毎日申報國漢文一千〇六十九號及び諺文五百四十六號は該論を轉載したるに依り治安妨害として十三日內部大臣より其發賣を禁止されたり

●**岡內部次官の歸期** 岡次官は東京を出發し歸任の途次郷里岡山に立寄りたる由にて同地より電報によれば今十四日夜南大門着歸任の豫定なりと

●**巨智部博士送別會** 巨智部博士の送別會は一昨夜花月に開催されたるが石塚、木內、小宮、俵の各參與官池田局長本田博士、趙農相、兪吉濬、趙義淵、李夏榮其他の日韓人百餘名の出席あり發起人總代黒岩技師の挨拶博士の答辭ありて宴に移り十一時頃散會したり因に博士は十六七日頃歸朝すべしと

●**頭本元貞氏の出發** 頭本元貞氏夫妻は昨朝八時五十分南大門發列車にて一旦歸國したるが米國總領事トーマス、サモンス氏夫人之れに同伴し見送り人非常なりき

●東拓の內情（上）

東洋拓殖會社は五月第一期株主總會を開かんとす會社は此の間に何を爲したるか株主は此の總會に於て何事の報告を受けんとするか、是れ最も注目すべき問題也、何となれば同會社の成立以來今日に至る唯一の仕事は唯實に內部の紛擾と亂脈との以外、何物をもなければ也

▲**最大の疑問** は東洋拓殖會社が何故に韓國政府の提供に係る時價三倍の田畑を引受けたるかに在り、初め度支部が所謂驛屯土中より提供せんと申込めるが韓國に於ける驛屯土なるもの丶總反別は、實に我が八萬七千余町にして此年收入額六十万圓即ち一町歩に付約六圓八十五錢に當り、之を五分利廻りとし、地價を算出する時は、一町歩百卅七圓となる仍て會社創立者は右驛屯土の地價に準じ、土地の提供を求めたるに拘はらず、度支部は改良を加へて耕作を爲すに於ては、優に三倍の收入を得るに至るべしとの理由に依り、時價田畑平均一町歩百十五圓の三倍を以て提供せんことを主張し交涉成らず已むなく全然驛屯土の提供を排し、正金を以て出資するの交涉を試みたるも議又はず、會社成立上容易ならざる頓挫を來さんとするに至つて

▲**創立當業者間に二派**を生じ、有利の議成立せざる限り會社の組織を延期すべしと主張する者あるに對し、是れ寧ろ故障百出の源也、宜しく暫く度支部の言ふ所に從ふべしと爲す者ありしが、結局提供總反別を一万千四百町步と見積り、中第一期拂込期に於て其の四分一を引受け、數年後第二回拂込期に於て地價當さに今日の協定價格以上に達すべきものを今日の協定價格に依り引受くるに於ては、結局多大の損失を被らざるへしとなし遂に度支部の主張を容れて時價三倍以上の價格に依り所謂驛屯土を引受くるに至れり、而も

▲**所謂驛屯土** は韓國全土に散在し、其の位置固より明確ならず商法の規程に依り物件の出資には必らず登記を經ざるべからざる拓殖會社が此の所在茫漠たる土地を登記するに何處の何々と如何にして算へ得たるか怪しむべきは其登記簿也（萬朝報）

●**內部會計主任會議** 各道各觀察道の會計主任は十三日より向ふ一週間の豫定にて內部に於て會計事務に關する打合せを開始したり

●**趙農相の金員寄附** 趙農相は京城日報社主催の觀光團に對し餞別として金百圓を寄附したりと

●**東拓出張所の請願** 群山民團會議所、農事組合の三團体は東拓出張所設置請願書提出の事を申合せ民團よりは已に提出したるが會議所より去る六日附を以て右請願書を宇佐川總裁に宛て提出したりと

●**平南線の用地測量** 平壤鐵道出張所にては平南線豫定用地測量の爲め去る八日技手先發し平壤を距る約一哩の所に赴き測量に着手したるが聞く所に依れば踏查したる豫定地中平壤起點約十七哩附近に於て少しく變更を要する個所ある由

●**內閣書記官長辭意** 內閣書記官長韓昌洙は豫て辭職の意ありたるが愈々不日辭表を提出すべしと

●**湖南學會役員改選** 湖南學會にては去る十一日午後本部に於て總會を開き役員の改選を行ひたるが其の結果評議員長に張斗植、評議員に尹柱亨、李乾炯、金商基、金商圀の四名當選したりと

●**米國巡遊團北韓行** 米國巡遊團三十名は豫て韓國遊覽の爲め入京中の處昨朝出發北韓に向へり

●**韓國視察旅行團** 三河新報社の主催に係る韓國視察旅行團は來る二十一日釜山に上陸し夫れより馬山水原を經て二十五日當地に來り平壤新義州を視察して五月一日歸國する由

●**京城中學助教諭** 京城中學校助教諭は京城に於て招聘する事となるべく又高等女學校敎諭中より兼任さるゝこととなるべしと

●**軍司令官の授章** 大久保軍司令官は九日附を以て大勳に叙し李花大綬章を賜はる

公人私人

▲三宅驥一（理學博士） 人蔘病源調査の爲め開城に出張なりしが十二日歸朝す

▲本田幸介（水原勸業模範場長） 十二日入京巴城館

▲大庭敬二郎（安東縣民長） 來京中の處十二日東京に向へり

▲向田幸藏（平南警察所長） 十二日歸任す

▲須藤素（平壤財務監督局事務官） 同上

▲西村主一（鎮南浦居留民長） 同日歸浦す

近事片々

▲統監 辭意の東電は亦も來る幾度繰返せば事實となるべきや異に際限なき事ぞかし

▲今回 は辭意の內情纔りて井上侯の忠言に依るとあり併し是れ一應有そうなる事也

▲三猿 侯も今回の大患にて大に悟る所ありしならん其心もて伊公に告る處ありし乎

▲春畝 公と云ひ三猿侯と云ひ最早裟婆氣を脫して佛いぢりか相應し之が則世の爲也

▲元老 舅姑よと後進者に忌み嫌はれて世話燒するよりも樂隱居するが世の爲ぞかし

▲併し 亦一方に於て山縣元帥桂首相打連れ重要問題の爲に伊藤公を訪ひたりと云ふ

▲斯く てはまだ々々裟婆氣は失せぬ哩然らば今度の辭意も當にならぬ眞に困入る也

▲元老 連の出裟婆のも佛はぬが之が爲め立憲政治の本領を汚すが如きは甚だ不可

▲國民 の望む處は早く引込で後進者に自由の手腕を揮はしむる事隱居の杞憂無用也

▲東拓 の評判は益々惡しく內紛は殊に若々し祖國新聞は漸く內幕を探りて掲げ始む

▲元來 事を誤るものは小才子等の屬僚にあり東拓內紛の如きも亦此傾向ありと云ふ

▲而も 俗吏等の上りを集めて殖民事業を經營せんとするが抑も首役連の誤りぞかし

▲總裁 は人物の撰擇に意を用ひ過ぎて却てつまらぬものを買ふ今に於て革新必要也

▲後藤 遞相鐵道視察の爲に來月中旬韓國にも來るべし蠻爵は韓鐵を如何に視るべき

▲韓鐵 の不振は金のなき爲めと云ふも施設の緩急を誤るも亦一の原因にあらざる乎

▲帝國 鐵道の主宰者たる後藤男にして其缺所を看破するに於ては大に效果あるべし

▲墺國 の二州合併は愈々列國の承認を得て其領に歸せり近時墺國の勃興見るべき也

▲加之 新にドレッドノート型戰艦の建造に着手せりと云ふ墺國々勢近時頓に發揚せり

▲先れ は人を制すと墺國二州合併も亦是也顧みて帝國の外交を思ふ轉た慨歎千萬也

▲英國 の女政客等逮捕に抵抗すと爲に柔術を稽古すと云ふ其意氣甚だ盛なる事に候

▲左な きだにれ轉婆なる歐米婦人に柔道を覺へしめば如何なる事に立至るべきにや

▲淸國 政府の暴狀に連れて淸國兵迄が暴[illegible]

東京電報

●敦賀港の修築 [illegible]着手することとなり今後日韓の交通は一層の便を得[illegible]

▲陸相の午餐會 寺內陸相は[illegible]を招待して午餐會を開けり

●望火樓貯水地完成 [illegible]三千余圓を投じ公園地下に[illegible] 仁川民團にては[illegible]

[illegible]を建造中なる望火樓は來る廿日頃[illegible]て近く取拂ひに着手すべしと

●學校生徒種痘施行 昨十三日午前十時[illegible]學校生徒に[illegible]學校に於て

●岩谷騎兵大[illegible]は不日出發大坂騎兵第四聯隊長に赴任すべきに付近親者四十餘名は昨日午後六時より花月に於て送別宴を催せり

●敦賀港修築 (東京電報) …の修築に着手することゝなれり今後日韓方面との交通は一層の便を得べし

▲陸相の午餐會 寺內陸相は…予師團長を招待して午餐會を開けり

雜報

●朝鮮の質屋業(三)

▲入質の物品 ▲期間と金利 ▲無鑑札營業

韓國は生活の程度が甚だ低いから隨て其用ふる所の家具什器等も實に僅かなものであつて且つ詰らないものである偶に高價の裝飾品があるとするも五六種の銀細工に過ぎない試みに韓人の入質する物品の種類を擧ぐると

家具及什器、鍋、釜、真鍮製食器、陶磁器、屏風、簞笥、鏡臺、蒲團、毛布及び衣類一切
裝飾品、銀製指環、銀簪、銀製小刀、銀製婦人胸裝、網巾、帽、玉眼鏡、時計鎖及び靴等

であつて就中最も多く出入するものは衣類、食器、銀指環、網巾及び帽の五品である京城、仁川方面は流石に大官連の居る處だけあつて金側時計、金指環若しくは金釦など高價の物を取ることもあるが地方にては昔て此の如きものに過はない夫れであるから一口の貸附が十圓になるものは實に百中の二三であつて中には五錢乃至七八錢位の質物さへ少くない是等は普通の時代に於ける普通の質物であるが今日の如き不景氣の極端に達せし時代には時に生ける牛や主けるも來る、漬物も來る甚しきは已れの寫眞及び實印などを入質する者もあるそれから韓國にても日本人に對しては三ヶ月を期限とし其金利は貸金額の多少により五歩より七八歩までとしてあるが韓人に對しては何れの地方も是迄の習慣により一定の期限もなければ又一定の金利もなく只質屋と質入主との合意の約束に依るので例へば甲は一ヶ月の約束で月五歩とするとか乙は二ヶ月の約束で月六歩にするとか丙は三ヶ月の約束で月七歩にするとか各々其約束を異にするのであるから甚だ不便利である且つ彼等は日本の質屋に於けるが如く月の二十五六日に入質するも一ヶ月の利子を取るが如き事は決して承知しない又五六日位期限を過ぎても其月の金利は容易に拂はないのみならず滿足に一ヶ月を經過したものにても値切りに掛るといふ有樣であるから到底日本式には遣り切れない況んや大根等や漬物の如き質物を二ヶ月も三ヶ月も引張られては實際質屋の堪へ得る所でない、であるから韓人對質物の金利及び期間は是迄の習慣により任意の契約するより外仕方がなからうそれから脱税及び警察の煩累を免れんが爲め其筋の許可をも受けず營業を遣つて居るもの殆んど其半數に上り中には公然質屋の看板を掲げて居る者さへある是等は正當なる營業者の利益を侵害すると云ふ迄もなく近來の竊盜犯者は總て其贓品を此の無鑑札の質屋に持込やうになつて犯罪の搜索上にも不便を來すものであるから無鑑札營業は社會の治安上よりしても戒飭せざる可からざる事と思ふ(了)

●秋から出齒庖丁

京城永樂町三丁目三十二番戶居住熊本縣人石工西森重藏(二六)南山町二丁目十八番地中瀨立太郎方鹿兒島縣人石工白石作太郎(二七)の兩名は一昨十二日午後九時半寄町二丁目卅八番地請負業白木爲次朗方事務所に來りて店員福見一男に對し金錢の强請ケ間敷言動をなすのみならず白石の如きは手に出齒庖丁を携帶して居るなど頗る物騷なるより福見は之をもぎとらんとして喧騷中警官に認められ警察署に引致されたり

●閔泳煥自殺の家

京城鐘路望門商店の李完植は曩きに典洞なる前自强會の向側なる所有家屋を忠正公閔泳煥に貸與しありたる處日韓協約締結の際閔は同家に於て自殺したるを以て其後同家屋を賣却せんとするも迷信深き韓人は凶家なりと稱して之れを買求むるものあらざるより李完植は此程閔泳煥の夫人に向つて之れが賠償金として三千圓を請求したるが閔家は李完植の强請を恐れて遂に金三百圓を支出したりと

●新花清月(花月樓の新妓)

魚遊痴史

▲瓢助● 春風瓢助にこ／＼顏で なびく三筋の糸やなぎ

▲十郎● 名乘る十郎大音揚けて 虎に縁りの高麗の野に

▲奴● 糸を頼りにアノ奴紙鳶 わたる浮き世の風次第

▲小稻● 腕も鳴子の彈く三絃に 意氣な小稻で唄ふ俗謠

▲光子● 初めて顏を光子の姿 花もつぼみの愛らしさ

●療治代一圓

仁川各國居留地先の埋立工事場に於て一昨日午前七時韓人工夫梁某と云ふが日本人工夫に腰部及右手を毆打せられ微傷を受けたりとて訴へ出でたれば警察は工事主成澤茂中の代理人寺尾角藏に紹介して治療代一圓を梁に與へて濟みとなしたりと

●步兵の爆破演習

步兵第一中隊は來る十七日午前八時より同十時まで龍山作業場に於て爆破演習を施行すべしと

●違警罪一束

旭町一丁目百二番戶居留德嶋縣人宇田新造(三八)曙町九十二番

●花柳巷談 似合の花較べ(四)

伊豫之守

▲たゑんに三太 前者は花月の重鎭後者は淸華亭の棟梁、技藝の秀でたる點も容貌の餘り宜からざる點も能く似たのみか年齡迄も相同じと云ふに至つては恐らく是程の好一對は有る間敷と存候、ゑん●玉は伊豫の國は大洲藩に產聲を揚げ良家の處女として成長せしも一家の悲運に遭遇せし爲め遂に廣島に轉住し吳檢番より藝妓に突出されしが、某々俳優に引懸かりて多額の負債を作り其果てが朝鮮三界迄流れ來りし次第なるも根が怜悧なる質で其上相當教育を有し居る事とて從來の放埒はガラリと打捨て專ら藝術を勵み學て踊りは更なり歌でも三味線でも誠に達者なもの又近來は長唄を大に勉强致し居り候、兎に角數多き花月●樓の名花中一際群を拔き居り申候、三●太は生粹の江戸妓にして長唄に至つては名手として賞讃するに足る可き價値充分に御座候性質も所謂江戸式にしてツヽツカ敷きも頗る淡泊にして眞に愛す可き質なるが藝妓としての懸引に乏しく餘りに單調に御座候されば座敷を取締ることか年若き妓共等を統御するさか云ふ技倆に至つては遙かにゑん●玉に及ばざる樣に候得共其處は三●太がゑん●玉より八●開が正直なる處かと存候、併し正直は時に間拔けにも相成り申候、姐さん怒こつちやイケナイよデモ江戸兒は氣が短かいからアヽヽれ次は錦子に●栄羅

●暴風警報

風强かるべし低氣壓は鬱口にありて七百五十一ミリメートルを示めし其中心は東に進まんとす韓國北部及中部を警戒す(十三日午前十時仁川測候所報)

●野犬に嚙まる

倭城臺統監府第六號官舍荻田書記官乳女中西村うめ(三七)は幼兒を抱きて門外に遊び居る際何處よりか來りけん一疋の野犬現はれ出でて挪揄せんとするうめの右手甲に飛び付き輕微なる咬傷を殘して何處ともなく逃け失せたるが或ひは狂犬にあらずやと懸念あり目下其筋にて搜索中

●天然痘患者死亡

仁川京町二丁目百三十八番地大井金藏の三男榮(一)は一昨日午前八時三十分頃天然痘にて死亡したるを以て正規の通り消毒をなしたる上火葬に附す

(前欄續き) 山口縣人大野賢太郎(三五)の二人は在留居を怠りて一圓宛の科料に處せられ新町三丁目二十三番戶木本彥助(三七)は夜間燈火なき自轉車を乘用して三十錢の科料を受け明治町一丁目九十七番戶雜貨商松本善作(三四)同三丁目百三十番戶小間物商橋口文次郎(三三)の兩名は自宅前の街路の不潔なることを屢々注意せられたるも其儘に放擲し置きたる故を以て三十錢及五十錢の科料に處せられたり尚ほ前記宇田新造は米倉町質屋吉良輔より流失の古衣を買受けて之を免許なくして賣買したる事發覺し科料一圓に處せられたり

▲正誤● 昨紙講座の義太夫を聽くと題する記事中末項の娘義太夫團体どあるは團朝の誤植に付き正誤す

●韓語獨習

日語	韓語
五月の月、から、雨期が始まりますか	オーウオルタル、ブテイエ、チャクマーカ、シチャクホオ
六月、から、です	ニーウオル、ブチイエムーヨ
來月になれば、雪が降りますか	ナイウオル、イトイミヨン、スーニン、オオ
十月から、降ります	シーウオルブッテイエオチヨ
いつ日本に行きました	オンゼー、イルボン、カツソ
先月に、出ました	チナンタル、エー、トナツソ

平民文庫

▲追々とすし時に向い諸君に注告します好が生は大きにすしやへきで名あるすし立寄り喰ひ狩したが旭すしに俵すし此頃いつも味の變らぬのが旭すし俵すし東京すし其他不勉强で不味のか夫婦すし…のは素人すしで批評するの直打ちがないざ(壽司道樂生)▲明治町の大阪屋と云ふ雜貨店の主人は實に親切であるア、云ふ店は必ず榮へなければならないと思ふ(買物男)▲長谷川町太平町一帶の地域は危險區域である此の頃暖かい晩なぞは盛んに其の肉を賣るべく活動せる魔者を以て充たされて居る(豆腐屋)▲太平町に立派な支那料理が出來た屋內淸潔で支那臭ひ惡臭のない丈けでも日本人向きとして成功すべき要素を備へて居るよ(大食子)▲此の頃の樣に風に荒くては困つて了いますよ(西洋洗濯家)▲旭町のみの字君は頻りに鳳閣寺の內幕を投書されるのだが少しは剩みがありますね中傷は止しなさい(一信者)▲飲酒は確かに毒ですね私は廢さうと思ひますが何うも廢められませんが善い方法は有りますまいか伺ひ度い(九柴の男)▲夫れは廢められないのではない廢めないのだ廢めてもやめられないと云ふ言葉は日本にありません廢めれば即ち廢められる一寸此所の理窟はれ分り惡いだらう(小僧)▲今日の氣候は何んと云ふことだ厭な氣持ちだよ(ヨボ)▲壽司に關する投書を本日の平民文庫冒頭に置いたから其括りにも一寸すしに關する話を置かう、すしは酢飯の訛とか酢押のりれださも云ふが其樣のことは僕は知らぬから此の上は云ふ資格がないとして此頭すしを食べに行くど一人前として皿に盛つて箸を添へて出す――申し遲れたが茲に云ふすしは握りずしさ御承知が願ひたい――が握りずしは元來箸でハサんで食ふものではないチョイと斯う云ふ工合式に三本の指で摘んでやらかすものだ但し箸をつけて出したとて使はねば夫れでよいが箸を出すなら小皿もつけて出すことハサんで食ひ切る迄も形が潰れずに居る石礫の樣なすしがあるものでないから(むら)

●望火樓●貯水地●完成● 仁川民團にては豫て三千餘圓を投し公園地下に築造せる高さ三十六尺の望火樓及び理事廳構內宮町遞信派出所橫仲町三町目三角地に廣二間に三間深さ八尺の石造貯水地及び理事廳構內に喞筒置場を建造中なるが望火樓は來る廿日頃其の他は本月末頃に全部完成を告ぐる筈

●札幌驛附近の係柵 仁川民團より龍山鐵道管理局に交涉中なりし札幌驛附近の係柵は此程取拂ふべしとの回答ありたるを以て近々取拂ひに着手すべしと

●仁川港の出入船舶 昨日の仁川入港船は社外船生玉丸の一隻ありしが出港船は商船會社の安東丸及び勝山丸の外佐賀縣の命令航船香椎丸三隻なりしと

●●●種痘施行 昨十三日午前十時より第二尋常高等小學校に於ては各生徒に稱し種痘を爲したるが尚其他の學校に於ても不日夫れ／＼種痘すべしと

●岩谷參謀の送別會 軍參謀岩谷騎兵大尉は不日出發大阪騎兵第四聯隊長に赴任するに付近親者四十餘名は昨日午後六時より花月に於て送別宴を催せり

天氣豫報(自十三日午後六時至十四日午後六時)

南の風晴

十二日 最高溫度 最低溫度 (華氏) 六八、四 三〇、四

無烟煉炭
●特色 ●用途
火付善く火力強く價格低廉 煖爐、炊爨、浴用に適す
●居留民團、統監府、度支部、朝鮮軍、總督府(?)、省煉炭所東隣
谷口無烟煉炭工場
京城特約店 京城領事館通 電話六〇三番 巴商會
韓國一手販賣 二丁目 神田組

▲無料紹介欄▼

人事部

下女至急入用 廿四五歲より四十歲位迄給料十圓まで 氏名在社(二一八)

女中入用 裁縫の心得ある者廿五歲以上の婦人を望む 旭町一の六十 旭町親會所(二二〇)

清語通譯希望 當初給料望まず 氏名在社(二二一)

物件部

電話貸したし 氏名在社(二二三)

電話買りたし 氏名在社(二二四)

電話格安に讓りたし 社內 中村

床屋讓渡したし 氏名在社(二二二)

廣告

待合 のしろ

京城本町二丁目 元いねの家

○建築業 中川卯之助
京城本町七丁目別府湯 電話六九一
○多年の經驗にて建築の完全を期し料金は便宜御相談可申候也

◎氣候變化=牛乳
◎牛乳=純良=消毒
韓國畜産株式會社
南大門外(電話八八番)

會席御料理

本町八丁目
富士見樓



開店五週年に付大賣出し
謹啓陳者時下陽春の候各位益々御清榮奉大賀候降て弊店儀開店以來茲に五ケ年に相當し其の間大方諸賢の御愛顧により日に月に繁榮に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御眷顧に酬へんが爲め
三月廿五日より四月廿四日迄滿一ケ月間
割引の減價を以て販賣仕候間何卒多少に不拘御用命仰付下され度偏に奉希上候

美術書畫
襖、壁、天井張
京城壽町一丁目
桂萬吉

電話開通 九五五番
生蕎麥 東京庵
壽町三丁目

電話開通 一〇四二
牛豚雞肉
石田精肉店
京城明治町一丁目

假營業所廣告
弊店儀今般改築に着手致候間普請中筋向へ林田交換所內に於て假營業仕候間不相變御愛顧御用命の程奉冀上候
追て電話六十五番を當分使用致候
各國時計並に美術品
京城本町二丁目
商田中時計店

直輸入
リノリーム各種
リノリ油類
京城支那領事館通り
清韓洋行
(電話四九四番)
右到着仕候間御用命下され度候

東京火災保險株式會社
明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
●京城代辨店 山口呉服店 電話九番
●事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

石炭直輸入卸小賣
●精撰塊炭 ●上等塊炭(海軍御用炭)
●荒塊炭 ●切込炭(鐵道御用炭)
弊店の石炭は自巳炭鑛よりの直輸入なるを以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候間目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候
赤阪口福母炭坑賣炭部
韓國京城南大門西側(電話長八二九番)
合名會社範多商會韓國代理店
合資會社長醫商會韓國出張所
大阪鐵工所韓國代理店
仁川濱町一丁目(電話長八三三番)
合資會社長醫商會仁川出張所

新荷着廣告
歐州各國帝室御用品
品質優等、意匠艶麗、
G.D. 印トルコ金口煙草(百本入 十本入)
外各種 百本入、二十本入、十本入とも
右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候
直輸入元
仁川本町一丁目
トルコ煙草商會
電話(七一五番)

診療開始
弊院曩きに類燒の災に罹り休業中の處這般南山町二丁目植村病院全部を讓受け三月一日より診療開始仕候
南山町二丁目 植村病院跡
電話六七五番
松岡醫院



代理店
新井藥房本店 京城南大門通三丁目(電話九百六十四番)
新井藥房第一分店 京城本町三丁目(電話四七八番)
新井藥房第二分店 京城南大門外

●廢物利用●
一金口煙草空箱買入れ申候
但百本入に限る
上等金口トルコ煙草發賣所
京城本町四丁目
パ子リス商會

大 命 薫
特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
大上商店
京城本町五丁目(電話二五一番)
和洋酒、◎精酢、穀物、麵類、銘茶、鑵詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候

新葉及詰合御用命之節は
井中彥太郞
京城本町三丁目 電話六七〇番

春の日の何となく長閑に相成申候折から野邊の散歩や遊山の心地よさ殊に興味の多き此頃なれば皆々樣方の御便利を圖り風味佳良は勿論大勉强致し候間何卒御贔負の程祈り候
すし、うなぎ
御料理、山遊折詰
明治町一丁目
松善

純良 乳
牛乳元祖
京城大和町一丁目
平山牧場
電話百三十三番

諸官衙御用品調達
各學校御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
委託販賣
東京ランバーダ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶橫小路(元花屋跡)
▲懇切の下宿▼
かめ屋

大阪府堺市
醇良清酒
澤龜
合名會社釀

銘茶 京城本町二丁目

日本郵船株式會社
仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
電話十番
●大連行(船客御斷)
新潟丸 日正午時出帆
●釜山長崎門司神戶行
山東丸 五月九日午後三時出帆
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸 四月廿二日正午時出帆
●大連、大沽、牛莊行
山東丸 四月二十七日前五時出帆
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸 五月十三日正午出帆
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸 四月二十八日
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事
仁川海岸通 郡回漕店
電話三九番

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ケ月前金五十錢▲三ケ月……▲六ケ月前金貳圓▲郵税一ケ月金……拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別……廣告五號活字十九字詰一行……
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太郎
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話……番